



# スライド作成の基本

～はじめてでも迷わず作れる～

ameri

# 目次

---

- 01 なぜ伝わらないのか
- 02 スライド作りは順番が大切
- 03 作成プロセス
- 04 一番重要なのは構成
- 05 視覚設計
- 06 まとめ
- 07 失敗しないためのチェックリスト



## なぜ伝わらないのか

---

### 分かりにくいスライドの原因

- 情報が多すぎる
- 何が言いたいかわからない
- 読みにくい

→基本ルールに沿って作成しよう！

# スライド作りは順番が大切

---

順番を意識すると、  
迷わず、分かりやすく作れる

- ① 作成プロセス（どう作るか）
- ② 構成作成（何をどう伝えるか）
- ③ 視覚設計（どう見せるか）



## ①作成プロセス

---

### いきなりデザインしない

- まず文章で構成を作る
- キャッチコピーのアイデア出し
- 全体のアウトライン作る（設計）

→AIを活用することで、

1時間かかる構成作成が5分で完了



## ② 一番重要なのは構成

---

# ☑ PREP法で構成をつくる

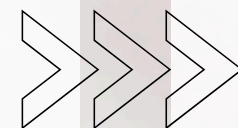
**P**oint

(結論)



**R**eason

(理由)



**E**xample

(具体例)



**P**oint

(再結論  
+ 行動を促す)

## ② 一番重要なのは構成

---

# ☑ PREP法で構成をつくる

**Point**

スライド作りは  
順番が大切



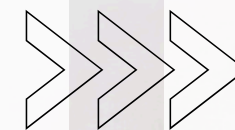
**Reason**

順番を意識すると、  
迷わず、  
分かりやすく作れる



**Example**

- ① 作成プロセス
- ② 構成
- ③ 視覚設計



**Point**

この順番が大切  
なので  
やってみよう

## ② 一番重要なのは構成

---

# ☑ 1スライド1メッセージ

- 1枚に1つだけ
- 詰め込まない
- スライドは“読むもの”ではない



## ② 一番重要なのは構成

---

### 章は3~4つ

内容をグループ分けする

→聞き手が全体像を把握しやすい



## ② 一番重要なのは構成

---

# ☑ 具体例を必ず入れる

「構成が大切」といった抽象的な説明だけでなく、  
「PREP法で流れを作る」  
「1スライド1メッセージにする」など、  
具体的な作り方まで示すと理解しやすくなる。



## ② 一番重要なのは構成

---

# ☑ 定量的な数値を示す



「60分かかっていた作業がAI活用によって5分に短縮された」など、数字で示すとより伝わりやすくなる。

### ③ 視覚設計

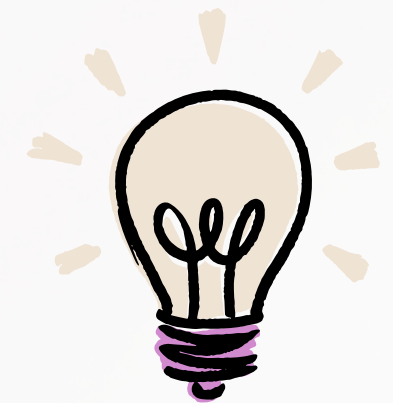
---

## 「読まれない」前提

聞き手はスライドの文字をすべて読むわけではなく、斜め読みをしている。

### 拾い読みできる設計

- 重要なキーワードを太字にする
- 一目で要点がわかるように配置する



### ③ 視覚設計

---

## 「読まれない」前提

聞き手はスライドの文字をすべて読むわけではなく、斜め読みをしている。

### 色はシンプルにまとめる

- 2～3色（例えば白、黒、青）程度に絞る
- 強調したい部分だけに目立つ色を使う



### ③ 視覚設計

---

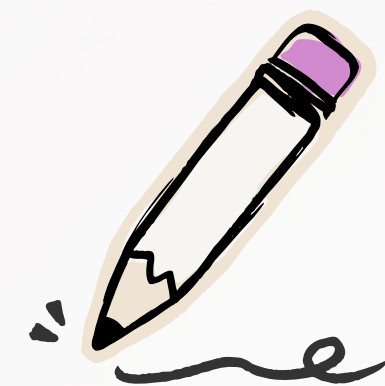
## 「読まれない」前提

聞き手はスライドの文字をすべて読むわけではなく、斜め読みをしている。

視認性の高いフォントを使う

- Noto Sans Japanese
- 游ゴシック
- セザンヌ

など



## まとめ

---

順番を意識することで、  
作る側も、聞く側も迷いがなくなり  
伝わるスライドになる

まずは、  
プロセスを考えるとところから  
始めよう！



# 失敗しないためのチェックリスト

---

- ☑ 設計図を先に作っているか
- ☑ 最初に結論を書いているか
- ☑ PREPの流れになっているか
- ☑ 1スライド1メッセージになっているか
- ☑ 章は3~4つに整理されているか
- ☑ 具体例が入っているか
- ☑ 数字で示しているか
- ☑ 強調ポイントが明確か
- ☑ 一瞬で内容が伝わるか

